

「秋の交通安全フェア in 久留米」で交通安全啓発

～福岡県警察と反射材の利用や飲酒運転撲滅等に関し、街頭活動で呼びかけ～

日本損害保険協会 九州・沖縄支部(委員長：谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)は、9月18日(金)に久留米シティプラザ・六角堂広場で開催された、「秋の交通安全フェア in 久留米」に参加しました。

交通安全フェアでは、福岡県警察本部 交通部 井上 智之 部長から、「今年は、交通事故件数および負傷者数は減少しているが、死亡者数は9人増加しており、厳しい状況下にある。また、昨年度の飲酒運転の検挙件数も高い水準で推移している。飲酒運転をしないことはもちろん、見かけた際は110番通報してほしい。」との挨拶がありました。

フェア内で実施された反射材贈呈式では、谷口委員長から、園児の皆さんに反射材を手渡しました。式典終了後、福岡県警察や久留米市交通安全協会等とともに、西鉄久留米駅利用者にチラシ等を配布し、「反射材着用の重要性」や「飲酒運転撲滅」を中心に、交通安全を直接呼びかけました。

九州・沖縄支部委員会では、今後も福岡県警察や関係機関と連携し、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施して参ります。



井上交通部長からの挨拶



贈呈式の様子



集合写真



配布した啓発物